

2020年3月期 第3四半期
決算発表説明資料



2020年2月13日
エンシュウ株式会社
(東証一部 6218)

I. 連結決算概要

● 全社

(1) 全社経営成績

● 工作機械関連事業部門

(2) 地域別売上高・営業利益

(3) 地域別売上高比率

(4) 受注高・受注残高

● 輸送機器関連事業部門

(5) 経営成績

● 配当

(6) 配当予想

II. 参考資料

● 四半期業績推移 連結

I. (1) 全社 経営成績



公表＝前回業績予想(11/8) (単位:百万円)

●2019年度 第3四半期業績概要【減収・営業利益同水準】

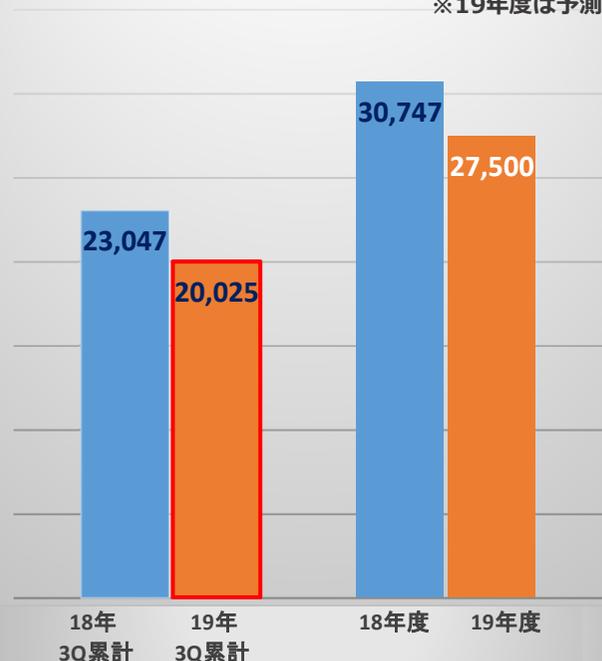
全社売上高は20,025百万円（前年同期比13.1%減）と減収
 営業利益は工作機械関連事業において原価低減の効果が上がったが、輸送機器関連事業が減益となり、営業利益1,844百万円（前年同期比3.1%減）と微減
 当期純利益は1,261百万円（前年同期比20.3%増）

●2019年度 通期業績見通し【減収・減益、2月5日創立100周年】

工作機械関連事業において、中国向けの売上のズレ込みが見込まれること、また、輸送機器関連事業の状況も厳しい中で、通期売上高は27,500百万円（前期比10.6%減）、通期営業利益は2,150百万円（前期比17.3%減）が確保できる見通し
 2月に100周年を迎え、新キャッチフレーズを『繋ぐ技術を、世界へ』に決定した
 来期以降に向けた長期ビジョン、新中計は策定中であり5月に発表予定

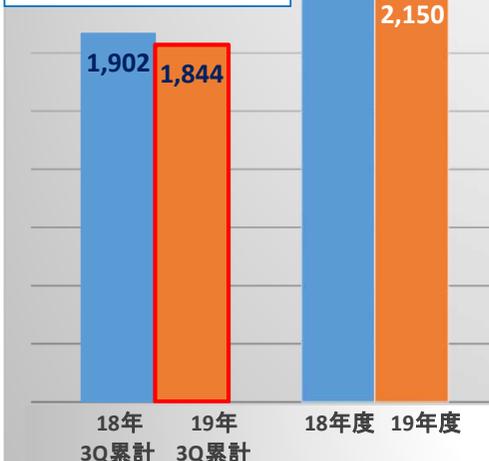
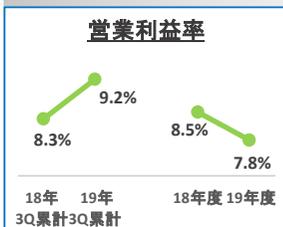
売上高

公表：30,000
 ※19年度は予測



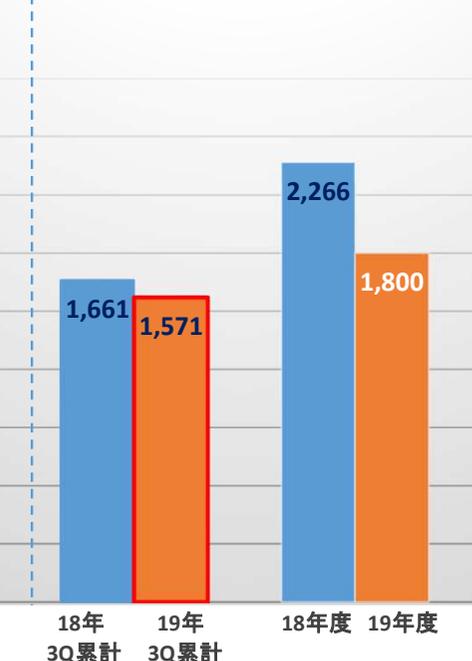
営業利益

公表：2,400



経常利益

公表：2,000



当期純利益

公表：1,600
 ※19年度は予測



I. (2) 工作機械関連事業部門 地域別売上高・営業利益



公表＝前回業績予想(11/8)

(単位:百万円)

●2019年度 第3四半期業績概要

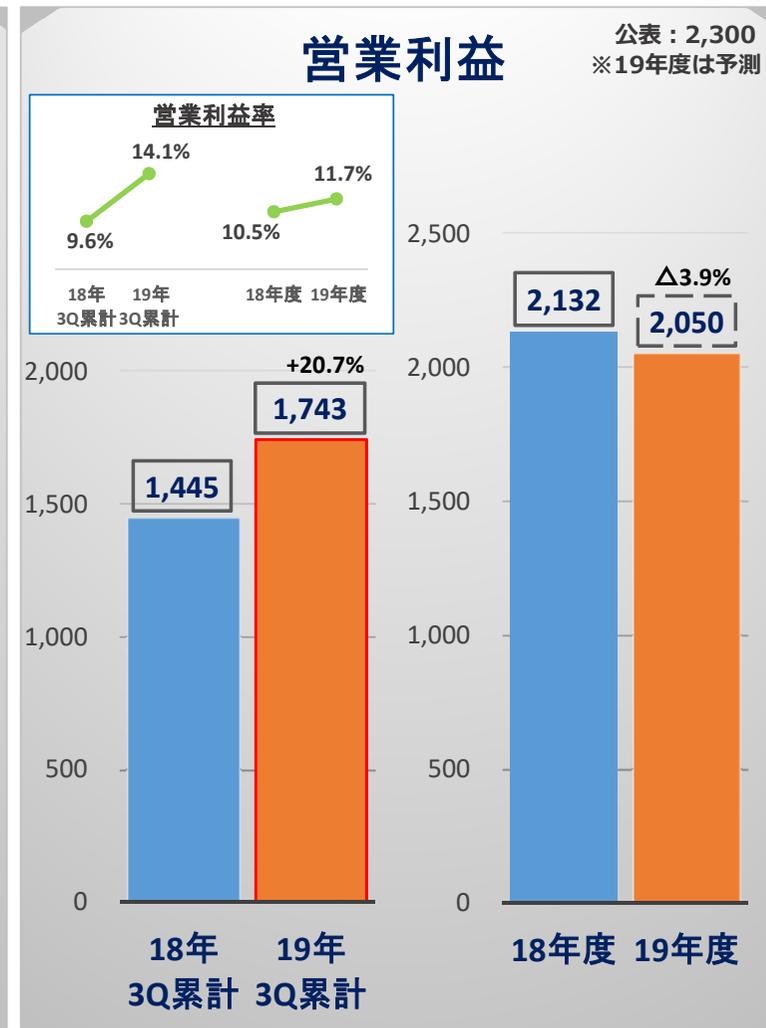
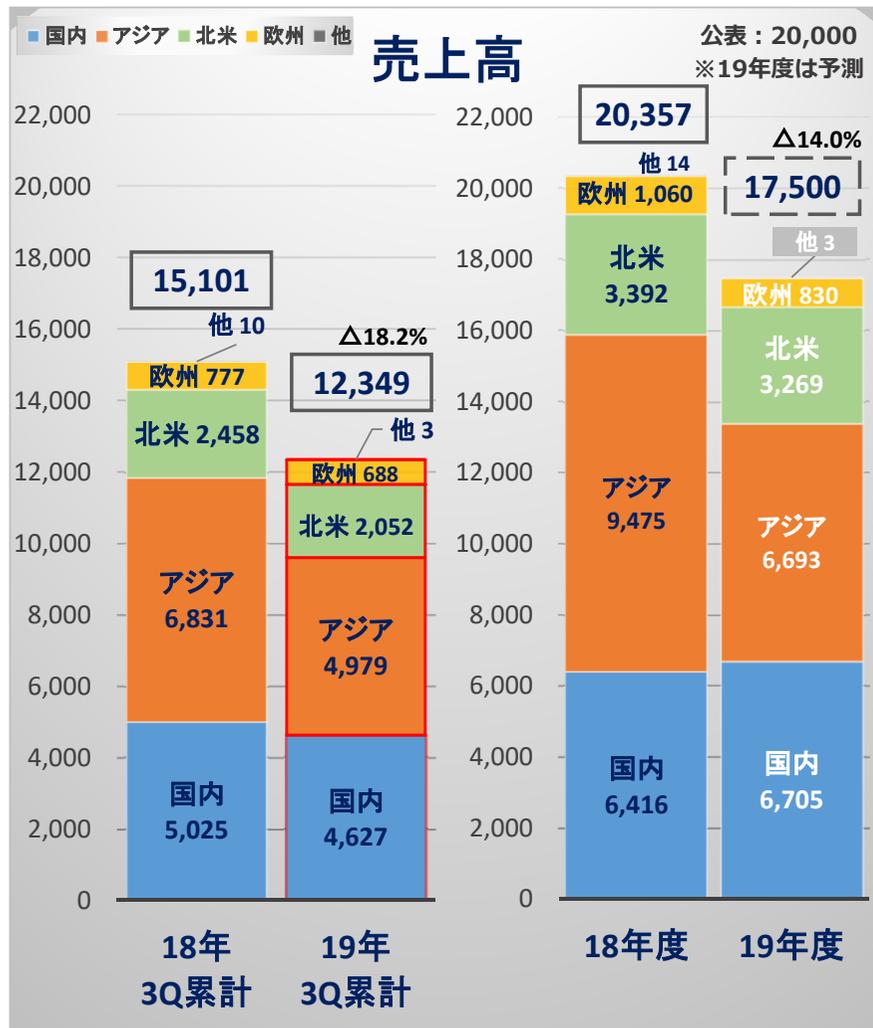
売上高については、国内海外ともに売上が落ち込み、売上高12,349百万円となり減収

損益面においては、案件毎に技術面での原価低減を徹底したことや、製造面での効率アップ等の施策を推進した効果により、営業利益1,743百万円と増益

●2019年度 通期業績見通し

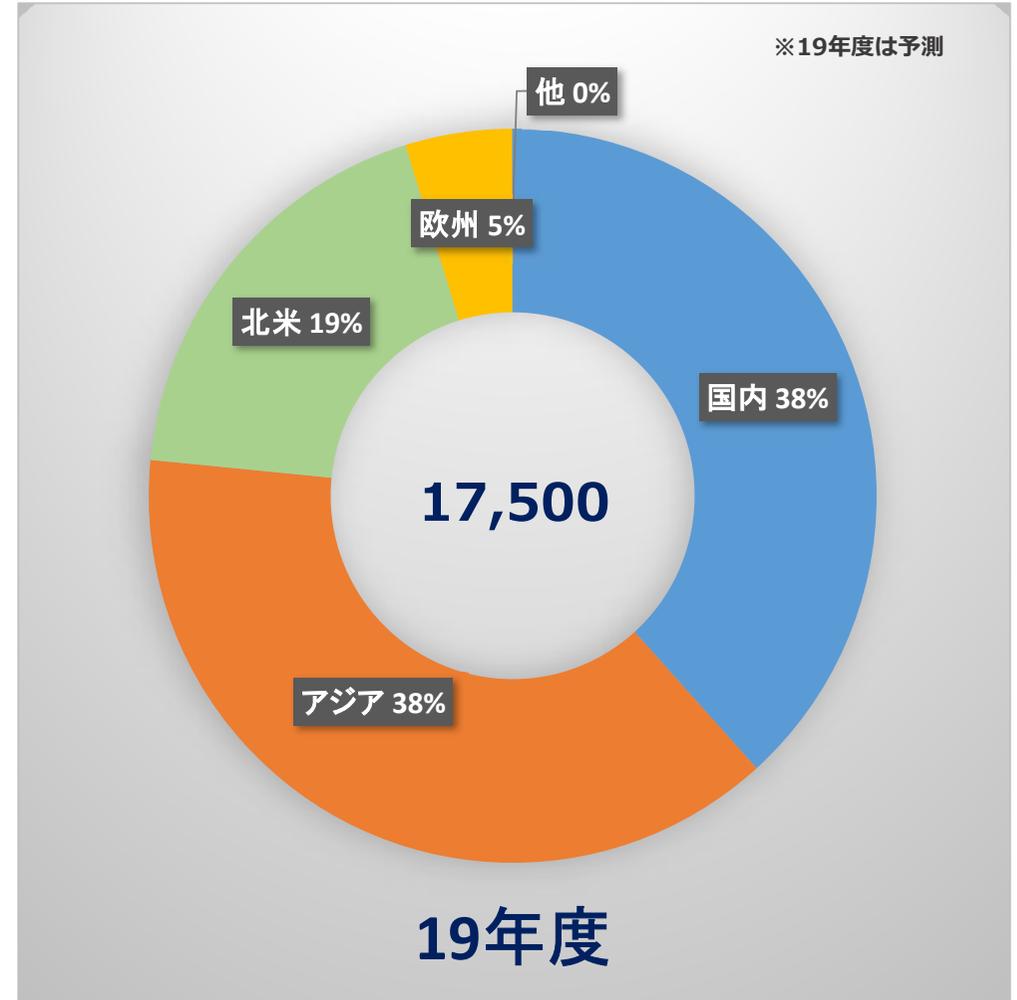
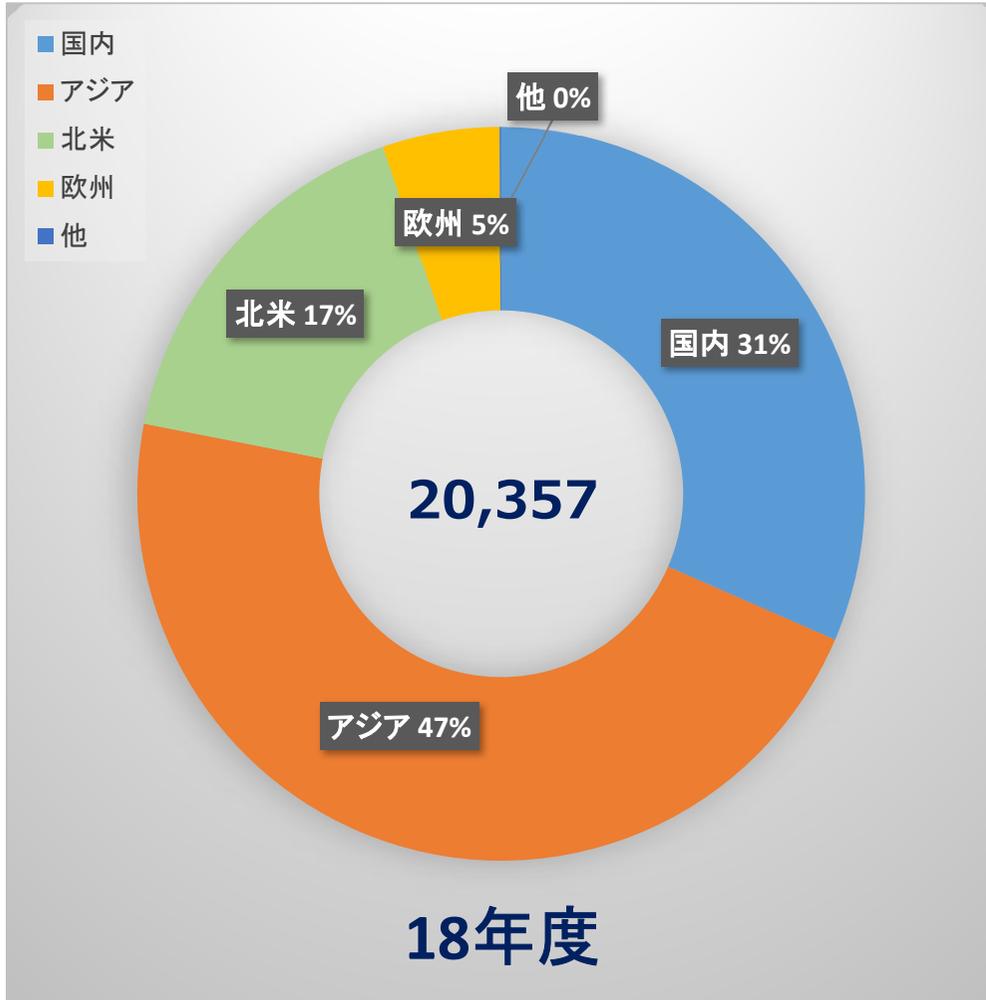
売上高は、北米は前期比同程度に推移、国内と中国を除くアジアにおいては増収が見込まれるが、中国が減少する見通しとなり、17,500百万円と前期比減収予想

営業利益については、売上高の減少に伴い前回公表より減益見込みではあるものの、改善施策により収益を向上することにより、営業利益2,050百万円を確保する見込み



I. (3) 工作機械関連事業部門 地域別売上高比率

(単位:百万円)

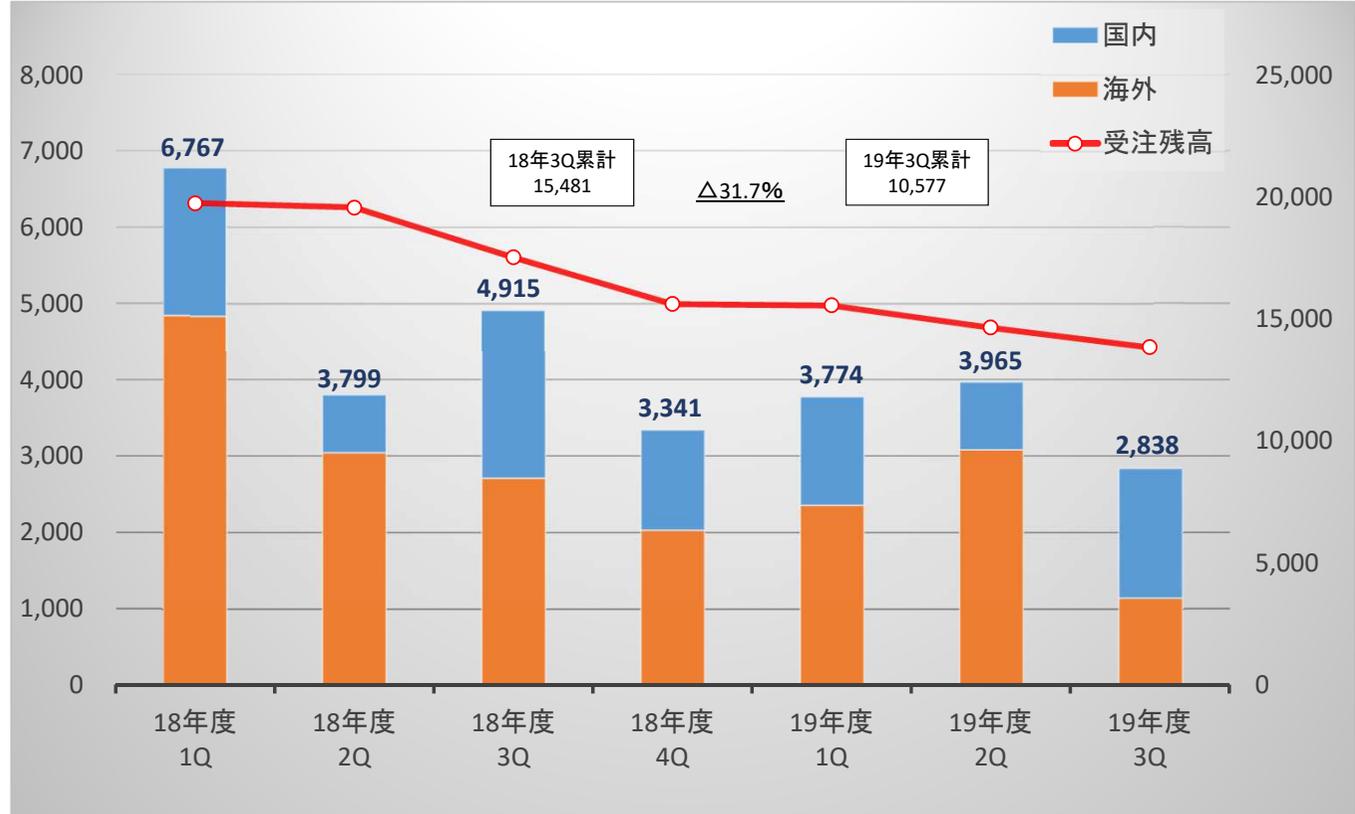


I. (4) 工作機械関連事業部門 受注高・受注残高

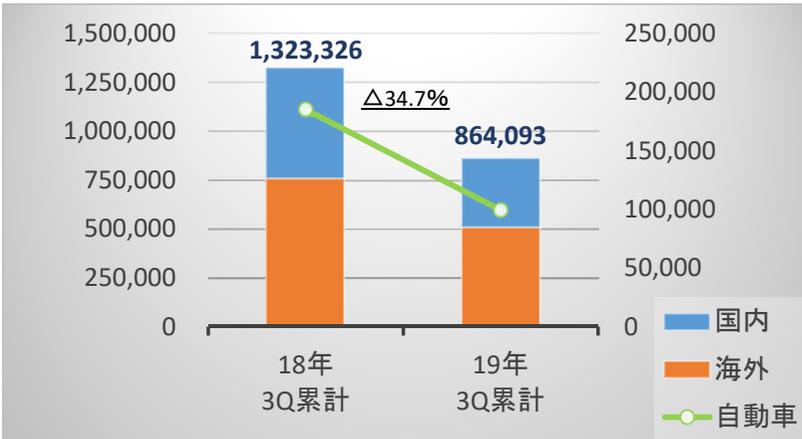
(単位: 百万円)

工作機械業界全体で受注が大きく落ち込んでおり、日工会の見通しでは復調を2020年前半以降と予想している
 当社工作機械関連事業についても、受注高は業界同様の落ち込みとなった
 不況下でも自動化投資は続いていくと見ている
 当社の新製品であるE-Loaderは国内外の展示会においてお客様より好評を得ており、市場の落ち込みを新製品で打ち返したいと考えている

☆当社の連結受注高及び連結受注残高推移



☆日本工作機械工業会受注推移



	18年 3Q累計	19年 3Q累計	18年3Q 累計比
国内	560,988	350,810	-37.5%
海外	762,338	513,283	-32.7%
自動車	185,201	99,347	-46.4%

	18年度 1Q	18年度 2Q	18年度 3Q	18年度 4Q	19年度 1Q	19年度 2Q	19年度 3Q	18年3Q 累計比
国内	1,928	757	2,204	1,310	1,419	885	1,696	-18.2%
海外	4,839	3,042	2,711	2,031	2,355	3,080	1,142	-37.9%
受注残高	19,739	19,562	17,525	15,611	15,557	14,650	13,841	

I. (5) 輸送機器関連事業部門 経営成績



公表 = 前回業績予想(11/8)

(単位: 百万円)

●2019年度 第3四半期業績概要

売上高については、国内海外ともに減少したことから7,623百万円と減収

営業利益については、固定費削減や生産性向上活動を継続したが、経費負担が重く営業利益61百万円

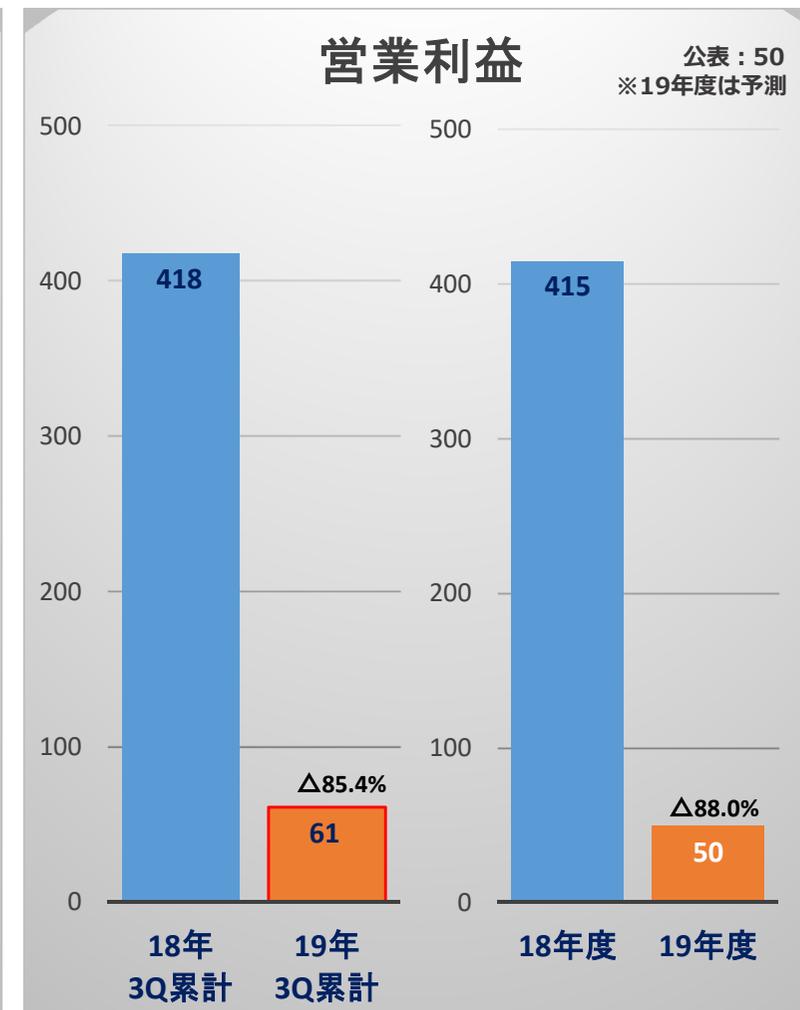
●2019年度 通期業績見通し

売上高については、ヤマハ発動機関連が減少する見込みであり、売上高9,930百万円

営業利益については、減収の影響と経費負担が増加したことから営業利益50百万円と大幅な減益見通し

●仕事量確保に向けた取り組み

工作機械関連事業の営業部門と一体となり、【エンシュウの強み】である自社で製造した機械を使用した加工事業（機械メーカーとユーザーの両側面）のアピールを行い、新規案件の受注に向けた営業活動を進めている



I. (6) 配当予想

普通株式に係る年間配当予想(2019年3月期及び2020年3月期予想)

基準日		普通株式1株当たり配当金				
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期 (復配)	普通配当	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 10.00	円 銭 10.00
	普通配当	-	0.00	-	15.00	15.00
2020年3月期 (予想)	記念配当	-	0.00	-	15.00	15.00
	合計	-	0.00	-	30.00	30.00

II. (参考資料) 四半期業績推移 連結



(単位:百万円)

(累計期間)

						セグメント			
		売上高	営業利益	経常利益	純利益	工作機械関連 売上高	営業利益	輸送機器関連 売上高	営業利益
2017年3月期 (149期)	第1四半期	4,287	△ 161	△ 215	△ 229	1,775	△ 209	2,494	35
	上期	10,386	△ 170	△ 304	△ 340	5,158	△ 268	5,192	72
	第3四半期 通期	14,363	△ 419	△ 576	△ 620	6,661	△ 694	7,648	236
		20,846	△ 404	△ 726	△ 791	10,438	△ 850	10,337	394
2018年3月期 (150期)	第1四半期	4,150	△ 1	△ 34	△ 48	1,596	△ 162	2,536	148
	上期	11,110	444	315	280	6,110	127	4,964	290
	第3四半期 通期	16,163	569	371	320	8,729	112	7,380	418
		23,479	928	674	597	13,671	378	9,737	498
2019年3月期 (151期)	第1四半期	6,755	333	271	216	4,175	150	2,561	170
	上期	13,460	819	653	581	8,150	482	5,274	311
	第3四半期 通期	23,047	1,902	1,661	1,049	15,101	1,445	7,892	418
		30,747	2,599	2,266	1,616	20,357	2,132	10,319	415
2020年3月期 (152期)	第1四半期	6,314	655	577	504	3,828	659	2,467	△ 17
	上期	13,780	1,481	1,259	1,089	8,700	1,390	5,044	64
	第3四半期	20,025	1,844	1,571	1,261	12,349	1,743	7,623	61



繋ぐ技術を、世界へ

2020年2月5日

おかげさまでエンシュウは

創立100周年を迎えました

ENSHU

エンシュウ株式会社

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。